

# 令和4年度 社会資本整備に関する要望

## ■強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮

### ◎自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服

「流域治水」の考え方にに基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域に渡る流域に関わる全員で水災害対策の推進

#### 主な要望箇所

#### ●流域治水の推進

##### ・総合的な治水・利水対策の推進

【石狩川（札幌市など）、十勝川（帯広市など）、天塩川（天塩町など）、  
 幾春別川総合開発事業（三笠市）、雨竜川ダム再生事業（幌加内町）、  
 佐幌ダム再生事業（新得町）、利根別川（岩見沢市）、堀株川（共和町）、  
 チマイベツ川（伊達市など）、真沼津川（新ひだか町）、ペーパン川（旭川市）、  
 イブンベウシ川（鷹栖町）、古丹別川（苫前町）、無加川（北見市）、  
 釧路川（釧路市など）、別保川（釧路町）、標津川（中標津町）など】

##### ・高潮・侵食・津波対策などの海岸保全施設整備

【胆振海岸（白老町）、大津海岸（豊頃町）、標津海岸（標津町）】

##### ・土砂災害対策施設の整備

【水無沢川（七飯町）、気門別川（伊達市）、ペンケオタソイ川（新得町）、  
 ペケレベツ川（清水町）など】

##### ・市街地を流れる河川の浸水対策の推進

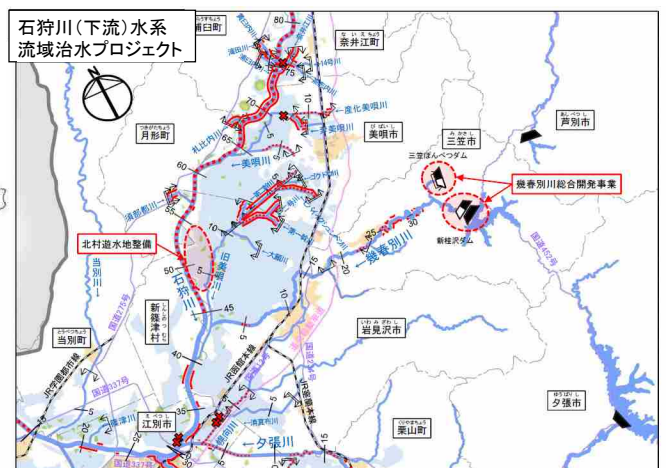
【望月寒川（札幌市）、湯の川（函館市）、クサンル川（稚内市）、伏古別川（帯広市）など】

##### ・粘り強い構造の堤防の整備推進～堤防天端舗装

【斜里川（斜里町）、利別川（足寄町など）など】

#### <道内の流域治水プロジェクト一覧>

1 石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト	9 網走川水系流域治水プロジェクト
2 石狩川(上流)水系流域治水プロジェクト	10 常呂川水系流域治水プロジェクト
3 後志利別川水系流域治水プロジェクト	11 湧別川水系流域治水プロジェクト
4 尻別川流域治水プロジェクト	12 渚川水系流域治水プロジェクト
5 鶴川水系流域治水プロジェクト	13 天塩川(下流)流域治水プロジェクト
6 沙流川水系流域治水プロジェクト	14 天塩川(上流)水系流域治水プロジェクト
7 釧路川水系流域治水プロジェクト	15 留萌川流域治水プロジェクト
8 十勝川水系流域治水プロジェクト	※プロジェクト名は北海道開発局各開発建設部HP掲載をもとに作成



ダム完成予想図

○道では、河川整備計画に基づき河川整備を予定している二級水系（約40水系）において、令和3年度末までにプロジェクトを策定する予定。

【近年の被災状況】

▼一級河川パーパン川（旭川市）（2018.7）



さほろがわ  
▼一級河川佐幌川（新得町）（2016.8）



▼佐幌ダム（現況）



こたんべつがわ  
▼二級河川古丹別川（苫前町）（2018.8）



べつぽがわ  
▼一級河川別保川（釧路町）（2015.9）



きもんべつがわ  
▼気門別川（伊達市）（2017.9）



▼東北地方太平洋地震による津波被害（大津海岸付近）（2011.3）



【ソフト対策の取組】

▼ハザードマップ（洪水）



▼ハザードマップ（土砂災害）



▼ハザードマップ（津波）



▼流域治水協議会



▼北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会



高規格道路のミッシングリンク解消など災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保や災害に強い安全な道路交通環境整備の推進

主な要望箇所

●災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保

- ・ ミッシングリンクの解消、国道とのダブルネットワークの強化  
 【北海道横断自動車道：足寄～陸別町陸別間、帯広・広尾自動車道：豊似～広尾間、日高自動車道：静内～三石間等】
- ・ 暫定2車線の4車線化  
 【千歳恵庭～十勝清水間、登別室蘭～伊達間、国縫くぬぬい～八雲間、和寒わっさむ～士別剣淵間】

●災害に備えた安全な道路交通環境の整備

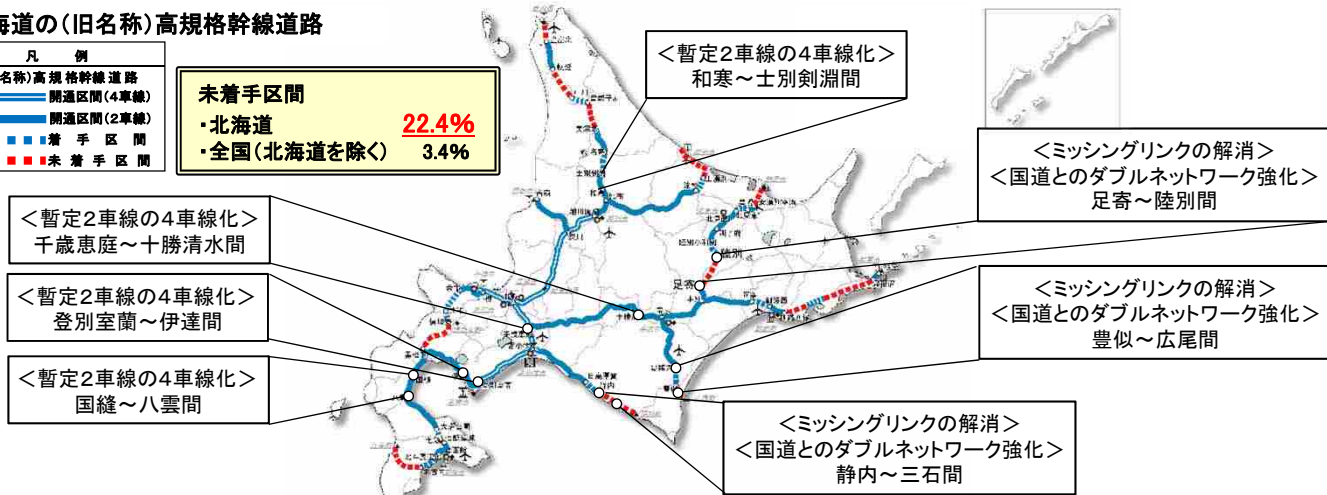
- ・ 避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備  
 【国道227号渡島中山防災（北斗市・厚沢部町）、国道229号乙部町、国道239号霧立防災（苫前町）、国道236号野塚防災（広尾町）、国道274号清瀬防災（日高町）、国道335号標津防災（標津町）、奥尻島線（奥尻町）、泊共和線（泊村・共和町）、滝之町伊達線（伊達市・壮瞥町）、網走公園線（網走市）、大岸礼文停車場線（豊浦町）、上向別浦河停車場線（浦河町）、中央通（木古内町）など】
- ・ 都市災害を防止するための無電柱化の推進  
 【稚内天塩線（稚内市）など】

●防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムの推進

北海道の(旧名称)高規格幹線道路

凡 例	
(旧名称)高規格幹線道路	開通区間(4車線)
	開通区間(2車線)
	着手区間
	未着手区間

未着手区間  
 ・北海道 **22.4%**  
 ・全国(北海道を除く) **3.4%**



【国土幹線ネットワークの機能確保】

▼道東自動車道トマム～十勝清水間



▼道東自動車道トマム～十勝清水間



【危険箇所の防災対策】

▼大岸礼文停車場線（豊浦町）



▼国道229号（乙部町）

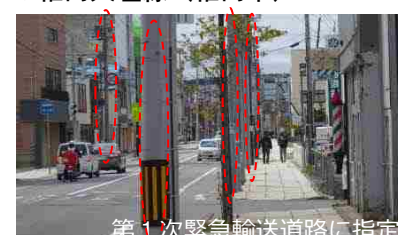


【都市災害を防止するための無電柱化】

▼深川雨竜線（深川市）



▼稚内天塩線（稚内市）



火山砂防施設や土砂災害対策施設など自然災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備や災害に強いまちづくりなどの推進

主な要望箇所

●自然災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

・火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備

【樽前山（苫小牧市）、十勝岳（美瑛町、上富良野町）、北海道駒ヶ岳（森町）、石狩川水系（札幌市など）、厚真川水系（厚真町）、小樽高島1丁目・2丁目1地区（小樽市）、飛生川（白老町）、辺別川（美瑛町）、オチウシナイ川（利尻富士町）、支湧別川（遠軽町）、芽室川（清水町）、呼入（2）地区（網走市）など】

・病院、老人ホーム、幼稚園などの要配慮者利用施設を守る土砂災害対策の推進

【茂生1の沢川（石狩市）、芦別本町地区（芦別市）、豊里第三地区（赤平市）、太田の沢川（蘭越町）、長万部高砂1地区（長万部町）、大林川（洞爺湖町）、遠軽西町2丁目1地区（遠軽町）など】

・高潮・侵食・津波対策施設などの海岸保全施設整備

【度杭崎海岸（森町）、海岸町海岸（羅臼町）、大岬海岸（稚内市）、虎杖浜海岸（白老町）、胆振海岸（白老町）、浜中海岸（浜中町）、野付崎海岸（標津町・別海町）など】

●災害に強いまちづくり

・耐震診断や耐震改修に係る財政支援の拡充など、住宅や建築物の耐震化の促進

【幌加内町中央公民館（幌加内町）など】

・災害時の避難、防災活動に寄与する公園等の整備

【東光スポーツ公園（旭川市）など】

・浸水被害から都市機能を守るための下水道の整備

【旭川市、帯広市、苫小牧市など】

・都市災害を防止するための無電柱化の推進

【稚内天塩線（稚内市）など】

●自然災害などによる被害を軽減する危機管理体制の充実と地域防災力の向上

・大規模氾濫減災協議会の推進

【道内全域】

・洪水時の水位監視の充実

【道内全域】

・活発化する火山活動に備えた対策の推進

【十勝岳など】

●建設産業の担い手確保・育成への支援

・技術・技能の継承のための国による関係支援事業の推進及び予算の確保

・地域が主体となって行う担い手確保・育成の取組を支援する制度の創設

【火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備】

▼十勝岳（上富良野町）



富良野川3号砂防堰堤

【住宅や建築物の耐震化の促進】

▼建築物の耐震化



秩父町役場

【災害時の避難、防災活動に寄与する公園等の整備】

▼東光スポーツ公園（旭川市）



【大規模氾濫減災協議会の推進】

▼協議会の様子



【建設産業の担い手確保・育成への支援】

▼高校生を対象とした現場見学会



▼若手建設産業就業者と高校生の意見交換会



## ◎社会資本の戦略的な維持管理・更新、耐震化

「北海道インフラ長寿命化計画」に基づく長寿命化の取組など社会資本の老朽化対策や社会資本や建築物などの耐震化の推進

### 主な要望箇所

#### ●社会資本の老朽化対策、長寿命化の取組や既存ストックの有効活用

- ・公共施設の老朽化、長寿命化の取組や既存社会資本の有効活用

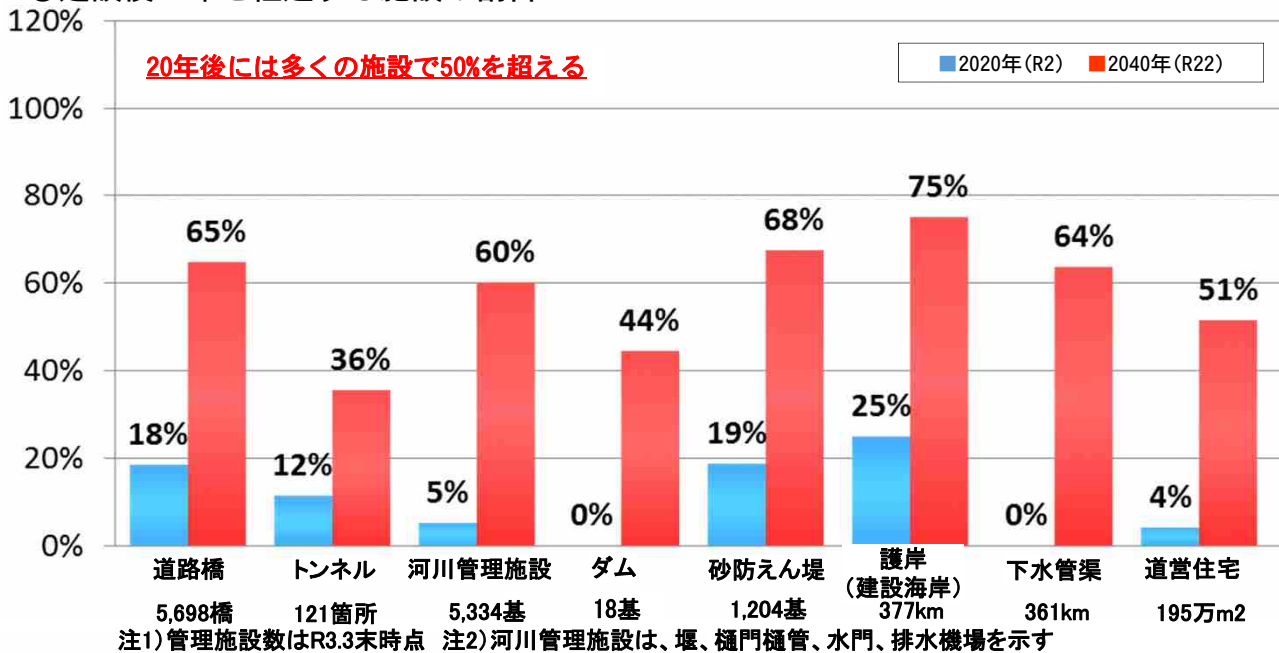
【白老橋（白老町）<sup>びばいがわ</sup>】【直轄代行】、平成大橋（旭川市）、妹背牛橋（妹背牛町）、新川（札幌市）、美唄川（美唄市など）、有明ダム（初山別村）、野幌総合運動公園（江別市）、石狩川流域下水道（滝川市ほか）、下水道施設（函館市、小樽市ほか）、日吉町A団地（函館市）、若葉団地（士幌町）、標津海岸（標津町）、山越海岸（八雲町）、野塚海岸（積丹町）など】

#### ●社会資本や建築物などの耐震化

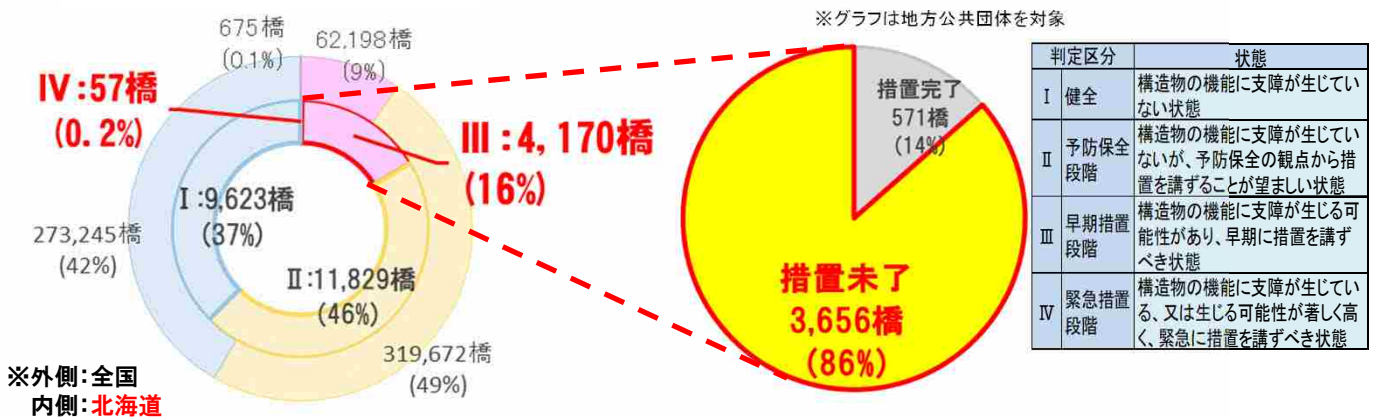
- ・道路施設や建築物などの耐震化

【ニセコ大橋（ニセコ町）<sup>おうけいばし</sup>、黄溪橋（壮瞥町）、十勝川流域下水道（帯広市ほか）、下水道施設（苫小牧市）ホテル、旅館等大規模施設など】

#### ●建設後50年を経過する施設の割合



#### ●橋梁の1巡目点検結果と北海道内の健全性Ⅲ・Ⅳの措置状況



## 【構造物の劣化状況】

### ▼道路（橋梁）



### ▼防雪柵



### ▼河川管理施設（樋門）



### ▼砂防えん堤



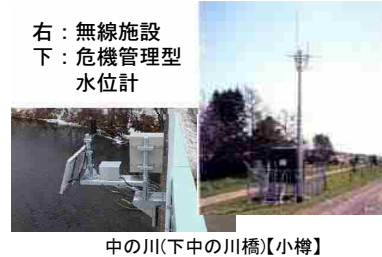
### ▼海岸保全施設



### ▼道路照明



### ▼観測施設（河川情報）



### ▼ポンプ施設（下水道）



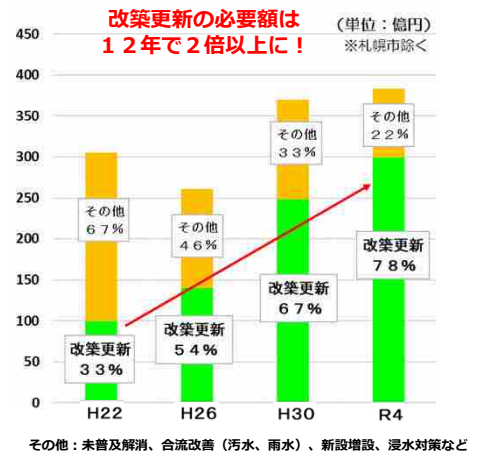
### ▼公営住宅



## 【下水道施設の老朽化】

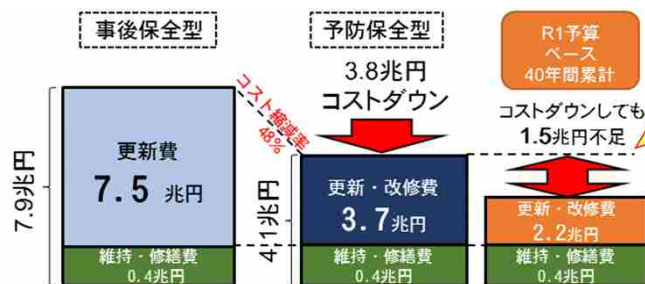
長寿命化対策の確実な実施が課題

老朽化の加速



## ●予防保全によるトータルコスト縮減

※道が管理する施設の維持管理・更新等に係る経費の見込み額（今後40年間の推計）



予防保全によりトータルコストを縮減しても年間不足額 1.5兆円÷40年 = 375億円/年 ※単純平均

## 【点検実施状況】



※北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）（H31.3改定）より

## ◎高規格道路等ネットワークの形成

### 主な要望箇所

#### ●高規格道路の整備促進

##### ・事業化済区間のうち当面着工しない区間の早期着手

北海道横断自動車道 足寄～陸別町陸別間

##### ・着手している区間の早期開通

北海道縦貫自動車道：七飯～大沼公園間、士別剣淵～<sup>なよろ</sup>名寄間

北海道横断自動車道：阿寒～釧路西間、陸別町陸別～<sup>しやうとしべつ</sup>陸別小利別間

帯広・広尾自動車道（忠類大樹～<sup>とよに</sup>豊似間）、日高自動車道（日高厚賀～<sup>しづ</sup>静内間）、  
函館・江差自動車道（北斗茂辺地～<sup>もへじ</sup>木古内間）、旭川・紋別自動車道（遠軽～<sup>うづり</sup>上湧別間）

倶知安余市道路（国道5号）、端野高野道路（国道39号）

<sup>おといねづ</sup>音威子府バイパス（国道40号）、尾幌糸魚沢道路（国道44号）

道央圏連絡道路（長沼町、南幌町、江別市）、遠軽北見道路（遠軽町）、

旭川十勝道路（旭川市・<sup>ひがしかぐら</sup>東神楽町、中富良野町・富良野市）

##### ・未着手区間の早期着手

北海道縦貫自動車道：七飯藤城～七飯間、美深北～音威子府間、中川～幌延間、豊富北～稚内間

北海道横断自動車道：黒松内～倶知安間、釧路別保～厚岸町尾幌、厚岸町糸魚沢～温根沼間  
女満別空港～網走間

旭川・紋別自動車道（上湧別～紋別間）、帯広・広尾自動車道（豊似～広尾間）、

日高自動車道（静内～浦河間）、函館・江差自動車道（木古内～江差間）

遠軽北見道路、旭川十勝道路、松前半島道路、釧路中<sup>なかしべつ</sup>標津道路など

#### ●高規格道路の機能向上

##### ・「高速道路における安全・安心基本計画」における優先整備区間の早期着手・完成

北海道横断自動車道：千歳恵庭JCT～十勝清水IC

北海道縦貫自動車道：登別室蘭IC～伊達IC、<sup>くぬい</sup>国縫IC～<sup>わっさむ</sup>八雲IC、和寒IC～士別剣淵IC

##### ・追加インターチェンジの整備やジャンクションの改良等

北海道横断自動車道：釧路空港IC（仮称）の早期完成

<sup>おさるし</sup>長流枝スマートIC（仮称）の早期完成

小樽JCTの早期完成（小樽⇒余市乗り入れの整備）

本別JCTの早期着手（本別⇔足寄相互乗り入れの整備）

利便性向上に資するスマートインターチェンジの調査、検討（新得スマートIC（仮））

##### ・安全性と速達性、定時性の向上

追い越し車線の追加やワイヤロープ式防護柵などの整備

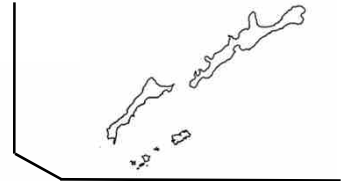


# 2環状8放射

～広がれ!北海道高速道路ネットワーク～

凡例	空港	国管理	特定地方管理	地方管理	国際拠点	重要
	✈	✈	✈	✈	✈	✈

民間委託7空港



■未着手区間一覧表(令和3年3月31日現在)

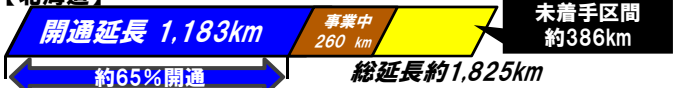
No.	路線名	区間
①	北海道縦貫自動車道	七飯藤城～七飯
②		美深北～音威子府
③		中川～幌延
④		豊富北～稚内
⑤	北海道横断自動車道根室線	黒松内～倶知安
⑥		釧路別保～厚岸町尾幌
⑦	北海道横断自動車道網走線	厚岸町糸魚沢～温根沼
⑧		女満別空港～網走
⑨	旭川・紋別自動車道	上湧別～紋別
⑩	帯広・広尾自動車道	豊似～広尾
⑪	日高自動車道	静内～浦河
⑫	函館・江差自動車道	木古内～江差
⑬	北海道横断自動車道網走線	足寄～陸別

■「高速道路における安全・安心基本計画」における優先整備区間 計136km

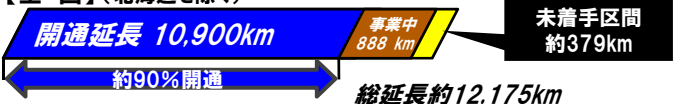
No.	路線名	区間	延長(km)
①	北海道横断自動車道	千歳恵庭JCT～十勝清水	87
②		登別室蘭～伊達	18
③	北海道縦貫自動車道	国縫～八雲	17
④		和寒～士別剣淵	14

■令和3年3月31日時点の開通率

【北海道】



【全国】(北海道を除く)



※ (旧名称) 高規格幹線道路の北海道と全国の比較



# ～高規格道路ネットワークの早期形成を!～

## 1. 日本の食を支える大動脈

- 北海道の農水産物は、国内の食料供給を支えており、特にオホーツク・十勝圏は生産性の高い地域です。
- オホーツク・十勝圏で生産された農水産物は、トラックで各港へ運ばれ、道外・海外へ向け出荷しています。
- 高規格道路の整備により、輸送時間の短縮を図り、物流の効率化を図ることにより、農水産物の「生産性の向上」が期待されます。



計画段階評価を進めるための調査区間  
女満別空港～網走

着手区間  
端野高野道路

着手区間  
陸別IC(仮)～陸別小利別

足寄IC～陸別IC(仮)  
(当面着工しない区間)

優先整備区間の4車線化  
千歳恵庭JCT～  
十勝清水IC

着手区間  
忠類大樹IC～豊似IC(仮)

未着手区間  
豊似IC(仮)～広尾IC(仮)

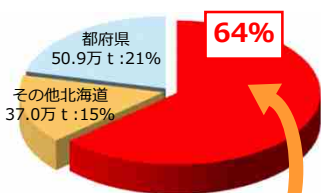
高規格幹線道路  
— 開通区間  
- - - 着手区間  
... 未着手区間



### ■農水産物の全国収穫・漁獲量

ばれいしょ

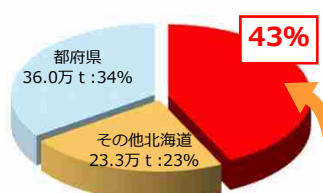
全国収穫量：239万9千 t  
(令和元年)



十勝・オホーツク  
152.0万 t

小麦

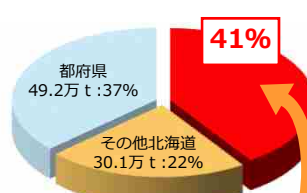
全国収穫量：103万7千 t  
(令和元年)



十勝・オホーツク  
44.4万 t

たまねぎ

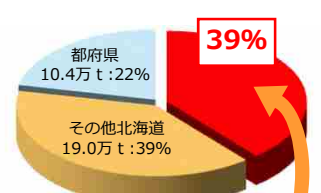
全国収穫量：133万4千 t  
(令和元年)



十勝・オホーツク  
54.1万 t

ホタテ

全国漁獲量：48万2千 t  
(令和元年)



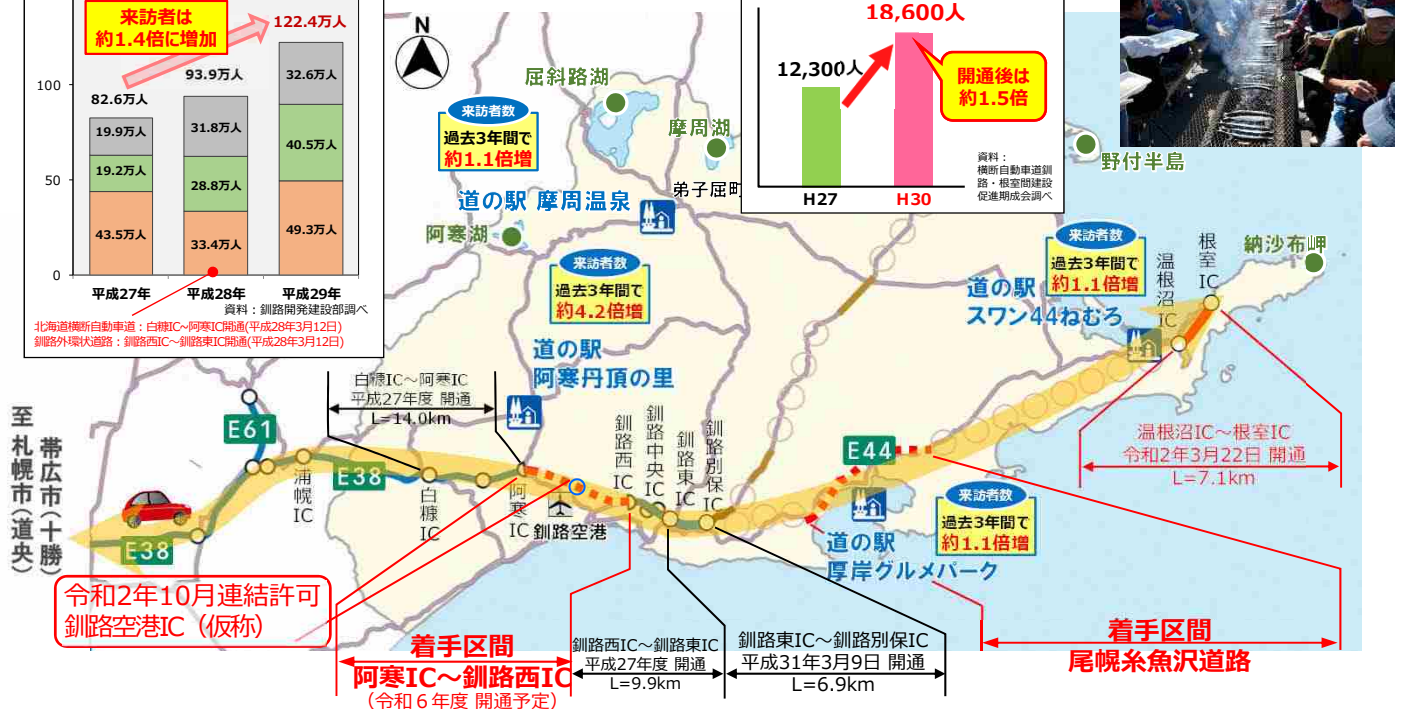
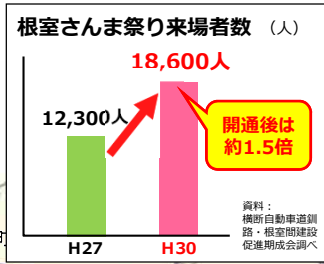
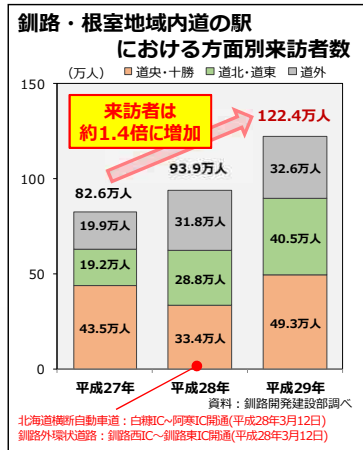
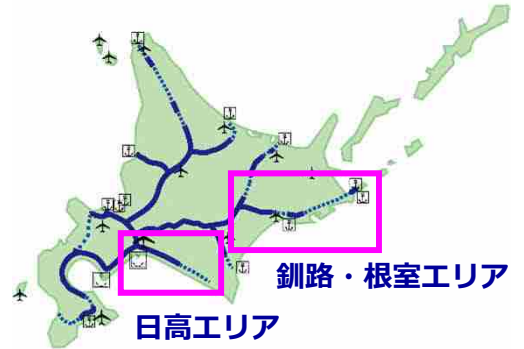
オホーツク  
18.8万 t

資料：農林水産省、北海道農政事務所

## 2. 観光立国北海道の実現

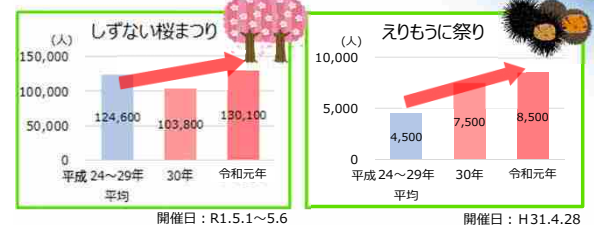
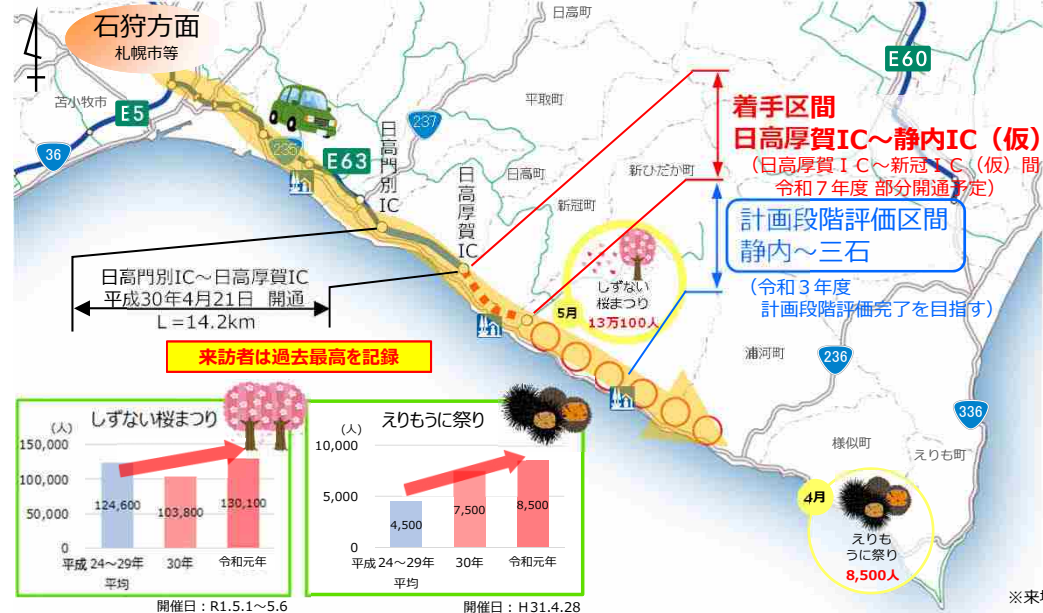
### 【道東自動車道開通による観光振興】

- 釧路・根室地域の観光地では道東道開通によりアクセス性が向上し、観光入込客数が年々増加しています。
- 特に、白糖IC～阿寒IC及び釧路西IC～釧路東IC間開通により、「根室さんま祭り」では開通前と比べて約1.5倍に増加し、地域内の道の駅来訪者は約1.4倍に増加しています。



### 【日高自動車道延伸による観光アクセスの向上】

- 日高地域の観光地への主要なアクセスルートとしては日高自動車道が利用されており、日高門別IC～日高厚賀IC間開通により、「しずない桜まつり」や「えりもうに祭り」では過去最高の来訪者を記録しています。

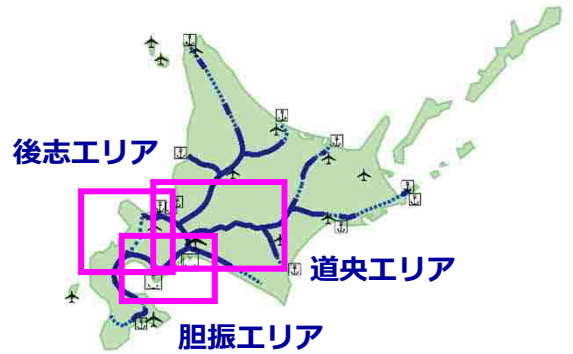


※来場者数は、日高振興局及びイベント主催者調べ

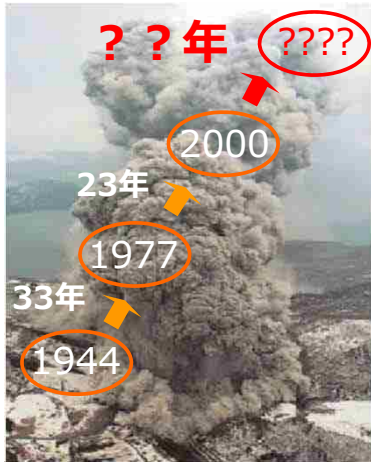
### 3. 大規模災害への備え

#### 【大規模災害時の代替ルートの確保】

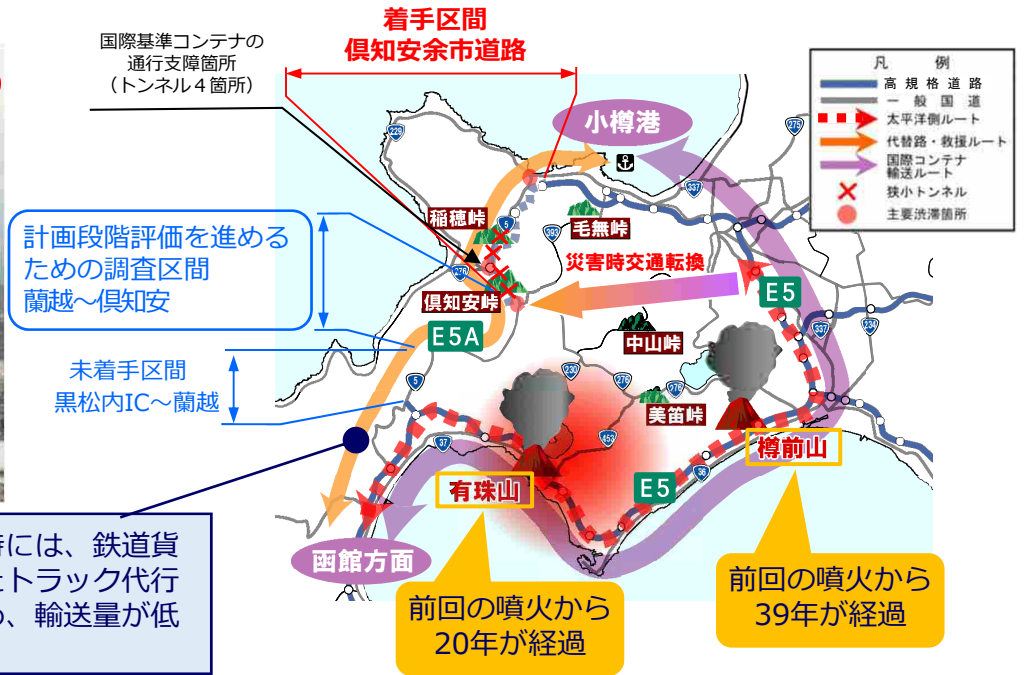
- 平成12年の有珠山噴火により、北海道縦貫自動車道が約15ヶ月間通行止めになったほか、JR室蘭線も不通となるなど、北海道と本州間の人流・物流に重大な影響が出ました。
- 大規模災害（噴火・地震・津波）に備えて信頼性の高い代替ルートの整備が必要です。



#### ■ 有珠山の噴火周期



平成12年の有珠山噴火時には、鉄道貨物輸送は一般道を利用したトラック代行による輸送に変更したため、輸送量が低下し輸送時間も増加。

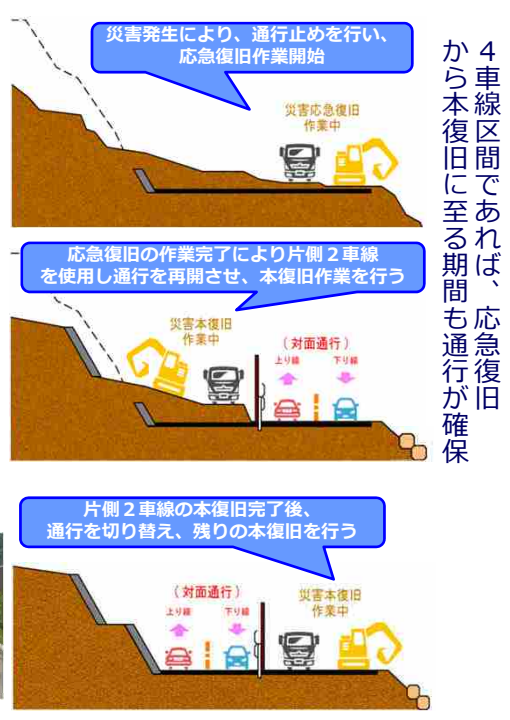


#### 【道東自動車道における暫定2車線区間の4車線化】

- 平成28年8月の台風で、道央と道東を結ぶ国道・鉄道が長期間に渡り通行止めとなりました。
- 道東道も被災しましたが、わずか1日で復旧し、物流や人流を支えました。しかし、暫定2車線区間であるため、事故処理や緊急工事の際には通行止めになるなど、安定的な交通の確保が課題となりました。



#### 4車線区間の復旧イメージ



4車線区間であれば、応急復旧から本復旧に至る期間も通行が確保

【通行止め期間】

道東自動車道

- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月1日(約2日間)
- 国道38号狩勝峠
- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月11日(約12日間)
- 国道274号日勝峠
- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年10月27日(約14ヶ月間)

